

## 薬学関係学部の専任教員数

(単位：人)

収容定員	専任教員数	
	1学科で組織する場合	2以上の学科で組織する場合
200	14	8
400	14	10
600	16	11
800	17	13
1,000	19	14
1,200	20	16
1,400	22	17
1,600	23	19

1. 大学における専任教員の数は、当該大学に置く学部の種類に応じ定める数と大学全体の収容定員に応じ定める数を合計した数以上（大学設置基準第13条）
2. 学部の種類に応じ定める専任教員数（薬学関係）は以下のとおり（大学設置基準別表第1）。  
なお、収容定員がこの表に定める数を超える場合は、その越える収容定員に応じて400人につき教員3人の割合で教員数を増加。

学部の種類	1学科で組織する場合の専任教員数		2以上の学科で組織する場合の1学科の収容定員並びに専任教員数	
	収容定員	専任教員数	収容定員	専任教員数
薬学関係	200-400	14	160-240	8

(参考)

大学名	学科名	収容定員	専任教員数
東京大学	薬学科	320人	31人 (14人)
共立薬科大学	薬学科	400人	13人 (10人)
	生物薬学科	240人	17人 (8人)

※（ ）内は上記基準に基づき算出した場合の専任教員数

## 薬学関係学部の校地・校舎面積

収容定員	校地面積	校舎面積	
		1学部のみを置く大学、または複数の学部を置く大学で基準校舎面積が最大である学部	複数の学部を置く大学で基準校舎面積が最大でない学部
200人	2,000㎡	4,628㎡	3,305㎡
400人	4,000㎡	5,785㎡	4,132㎡
600人	6,000㎡	6,777㎡	5,123㎡
800人	8,000㎡	7,768㎡	6,115㎡
1,000人	10,000㎡	8,760㎡	7,107㎡
1,200人	12,000㎡	9,751㎡	8,099㎡
1,400人	14,000㎡	10,743㎡	9,091㎡
1,600人	16,000㎡	11,734㎡	10,083㎡
1,800人	18,000㎡	12,726㎡	11,075㎡
2,000人	20,000㎡	13,717㎡	12,067㎡
2,200人	22,000㎡	14,709㎡	13,059㎡
2,400人	24,000㎡	15,700㎡	14,051㎡
2,600人	26,000㎡	16,692㎡	15,043㎡

1. 校地の面積は、収容定員上の学生1人当たり10㎡として算定(大学設置基準第37条)。

2. 校舎の面積は以下のとおり(大学設置基準別表第3)。

1学部のみを置く大学、または複数の学部を置く大学で基準校舎面積が最大である学部

収容定員	200人まで	400人まで	800人まで	801人以上
薬学関係	4,628	$(\text{収容定員}-200) \times 1,157 \div 200 + 4,628$	$(\text{収容定員}-400) \times 1,983 \div 400 + 5,785$	$(\text{収容定員}-600) \times 1,983 \div 400 + 7,768$

複数の学部を置く大学で基準校舎面積が最大でない学部

収容定員	200人まで	400人まで	600人まで	800人まで	1000人まで	1200人まで	1400人まで	1600人まで	1800人まで	2000人まで
薬学関係	3,305	4,132	5,123	6,115	7,107	8,099	9,091	10,083	11,075	12,067

※収容定員が2,000人を超える場合は、200人を増すごとに992㎡を加算

(参考)

大学名	収容定員	校地	校舎
東京大学	320人	8,554㎡ (3,200㎡)	23,510㎡ (4,132㎡)
共立薬科大学	640人	31,208㎡ (6,400㎡)	22,901㎡ (6,975㎡)

※ ( ) 内は上記基準に基づき算出した場合の校地・校舎面積

修了要件単位数の実態・今後増加が必要な教育内容例・6年制学部と4年制学部の修得単位数(案)

学問分野	北海道大学	東京大学	京都大学	共立薬科大学	昭和大学	東京理科大学	武庫川女子大学	今後、必要になる能力等 ('中間まとめ'より)	6年制学部において 増加する教育内容・科目 例	単位数 (モデル) 6年	単位数 (モデル) 4年	
教養教育	49	45	48	23	26	22	20	・人間理解のための幅広い教養 ・コミュニケーションをとることができる豊かな人間性 ・国際的に活躍できる能力 ・倫理観 ・論理的思考力	一般教養、コミュニケーション学、外国語、倫理学、論理学ほか	46	46	
薬学基礎教育	22	16	10	23	19	12	14			20	14	
薬学専門教育	65	59	72	76	71	102	81		医療薬学の拡充	86	34	
基礎薬学	6<16>	12<1>	28	40	37	25	31	・知識集約的産業である創薬産業の国際競争力の強化 ・生命科学の観点		30	12	
衛生薬学	4<1>	<2>	4	6	11	4	6	・健康科学の観点		8	4	
創薬科学	4<19>	23<9>	8<16>	3	8	<98>	4	・創薬産業の国際競争力の強化	バイオサイエンスほか	8	8	
医療薬学	11<17>	5<11>	4<10>	21.5	14	<9>	38	・医療人としての教養 ・根拠に基づく医療に貢献できる能力 ・服薬指導、薬歴管理、リスクマネジメント、薬物療法の提供、医薬品情報の伝達、治験の推進 ・医療チームの一員としての積極的な役割	患者コミュニケーション学(接遇?)、医薬品情報学、薬物体内動態学、薬局管理論、臨床医学概論、医療システム学、医療事故、臨床化学、臨床中毒学、医療推定学、薬剤疫学、医療情報学、医療心理学、臨床薬理学、病態生理学、先端医療、地域医療、リスクマネジメント、在宅医療と介護ほか	30	8	
薬事関連法・制度	2	<3>	2	5.5	1	2	2		医療訴訟、医療経済学等	10	2	
境界領域等(4年制)												14
実務実習	2	2	2	2	3	<3>	3	・医療人としての使命感・倫理観 ・実務についてのひととおりの知識 ・現場で適用する実践力 ・医療人としての技能・態度	実務実習の拡充	24	2	
卒業研究	9	14	6	6	5	4(1年)	6	・研究する心と態度 ・高い創造性 ・問題発見、解決型の能力		10	14	
卒業要件単位数計	147	136	138	130	124	136	124	・各大学の個性・特色に応じたカリキュラム編成 ・詰め込み教育にならないようにする必要	・教養教育の充実 ・モデル・コアカリキュラムに基づく教育 ・相当期間の実務実習 ・医療薬学の充実	186	124	